



---

P R E S S R E L E A S E

---

\* 本リリースは 2015 年 7 月 20 日 (現地時間) に、英国、米国で発表されたプレスリリースを翻訳したものです。

2015 年 7 月 21 日

### CSR、大幅なコスト削減を可能にする

#### ハイエンドプリンタ複合機向け SoC「*Quatro@ 5500* シリーズ」を発表

～次世代オフィスの複合機向けに多彩な機能を統合したソリューションを提供～

[CSR plc](#) (ロンドン証券取引所 略号: CSR、NASDAQ 略号: CSRE、以下「CSR」) は本日、新世代のワークスタイルに対応する多機能プリンタ (MFP: 複合機) 向けに、モバイル機器をはじめ、クラウド、従来型 PC やサーバーからの文書印刷を、高速、高品質かつスムーズに実行できるようにする高集積 SOC ソリューション、*Quatro 5500* を発表しました。[Quatro 5500 シリーズ](#) は CSR のプリンタ向け SOC ファミリの新製品として、専用 CPU とカスタム ASIC との組み合わせによってプリンタ特有の諸機能に対応し、従来の複合機向けソリューションに代わる低コストな選択肢として、メーカーの部品コストを大幅に削減します。

[Quatro シリーズ](#) の SOC にはいずれも、デュアル・コアの ARM Cortex-A15 CPU およびこれと対をなす Cortex-A7 コアに、CSR 独自の画像処理用 4 データパス SIMD DSP コア一対が組み込まれています。[Quatro 5500 シリーズ](#) は、CSR の [IPS™ ユニバーサル プリント インタープリタソフトウェア](#) 上で動作させることで、あらゆる主要印刷言語を通じて 1 分間に 70 ページを超える高速印刷処理を実現しています (業界標準の性能テストファイル J11.ppt を使った測定結果)。また、SuperSpeed USB 3.0、PCI Express、SATA 等の高速インターフェースを追加することで、モノクロ/カラー・レーザープリンタや複合機、高速文書スキャナなど多様な機器の各種ニーズにも充分応えることができます。

職場のモバイル化やデジタル化が進むにつれ、文書は PC からスマートフォンへ、タブレットからクラウドへとさまざまなデバイス間を行き交うようになり、人々は印刷したい時、プリンタに接続された PC にその都度アクセスしなくても、スムーズに印刷できる方法はないものかと考えています。こうしたエンドユーザーの要望に、複合機メーカーが応えられるよう、CSR *Quatro 5500* シリーズは、グラフィック LCD インターフェース、GPU、高性能プロセッサコアを一体化し、CSR のワイヤレスソリ

ューションや先進の印刷ソフトウェアと組み合わせています。現在、SOC、ソフトウェアから無線接続までを含めた包括的なソリューションを提供しているのは CSR だけです。

CSR ビジネス・グループ担当シニアバイスプレジデントであるアンソニー・マレーは、次のように述べています。「あらゆるものに快適な接続性を求める今日の消費者の要望を満たすため、プリンタ市場も大きく変貌しようとしています。Quatro 5500 シリーズが新たに加わったことで、当社のプリンタ向け SOC 製品ファミリーは一層拡充され、こうしたニーズに応えます。Quatro 5500 シリーズのソリューションと、既に定評ある当社の各種無線ソリューションとを組み合わせることで、お客様にコストを低く抑えたワンストップソリューションを提供することができます」

プリンタメーカーが短期間で製品を市場に投入できるよう、CSRは、ソフトウェア開発を素早く簡単に行うための環境を提供します。[CSR Inferno™モジュラー・ファームウェア・プラットフォーム](#)は、Quatroシリーズの全てのSOCに単一のファームウェアベースで対応し、開発者は、これを利用することで各種機能をカスタマイズして固有のニーズにも対応したり、幅広い製品の種別を問わずコスト効率の高いコントローラを開発できるようになります。Quatro SoC のCPU,DSP,マイコン各コアはいずれもプログラム可能なので、開発者は独自の機能や画像処理アルゴリズム、機構制御機能等を、標準的なソフトウェア開発効率化ツールを使って実装することができます。

Quatro 5500 シリーズのサンプルおよび開発システムの提供を開始しました。より詳細な[製品情報](#)については、CSRの営業担当者にお問い合わせください。

###

\* 本リリースは 2015 年 7 月 20 日 (現地時間) に、英国、米国で発表されたプレスリリースを翻訳したものです。原文は下記 URL よりご参照下さい。

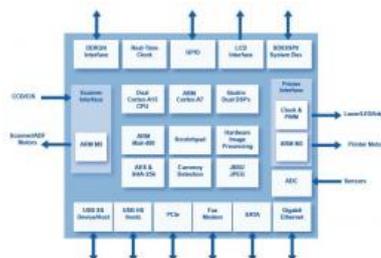
<http://www.csr.com/news/pr/2015/new-csr-soc-high-end-printers-offers-big-cost-savings>

## ■ 関連資料

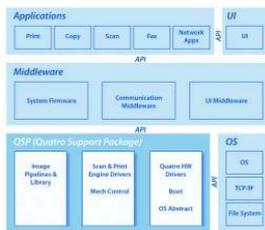
## ■ 関連資料

\* [Quatro 5500 シリーズのWEB詳細トップページ](#)

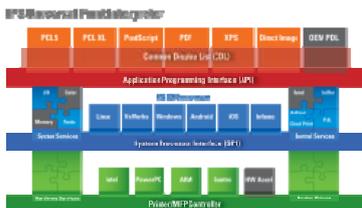
\* [Quatro5500 シリーズ 製品概要PDF](#) (スペック・ブロック図等)



\*[CSR Inferno™ファームウェア・プラットフォームのWEB詳細トップページ（日本語）](#)



\*[IPS™ ユニバーサル プリント インタープリタソフトウェアのWEB詳細トップページ（日本語）](#)



こちらの精細画像は画像をクリックして下さい

**CSRについて:**

CSRは、お客様が世界中のエレクトロニクス市場で成功をおさめるための様々な課題を解決し、変革の核となる技術を提供するため、妥協のない技術革新を進めています(push every boundary™)。ボイス&ミュージック、ドキュメント・イメージング、車載インフォテインメント、Bluetooth®Smart、屋内測位システム等の分野を中心に高性能な半導体、ソフトウェア、サービスの開発と、半導体チップへの集積を進めることで、人々のライフスタイルをより快適なものにし、途切れのないスムーズな接続とInternet of Thingsのもたらす真の恩恵を皆様にお届けします。詳細については、<http://www.csr.com/japan/> をご覧ください。また、最新の情報は、[テクニカル・ブログ](#)、[担当者ブログ](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも発信しています。また人々のワイヤレス・リスニング体験に革命をもたらしたCSRの無線オーディオ・コーデックであるaptX®の詳細については、<http://www.aptx.com/ja> をご覧ください。

**将来予想に関する記述**

本プレスリリースには、CSR Quatro 5500シリーズ並びにそれらが各種電機製品等に搭載された場合に発揮される性能、ならびにその他の将来発生しうる事象、またはそれらがCSRに及ぼす潜在的影響について、過去の事実以外の情報であって、かつ米国の1995年民事証券訴訟改革法(United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において「将来予想に関する記述(forward looking statements)」との解釈が成り立ちうる声明(将来の事業または業績に関する経営上の計画及び目標に関する所信表明、またはそれらに関する仮定を含む)を含んでいます。これらの予想に関する記述は、上記につき各々「予定である」、「提供できる」、「提供する」、「可能にする」、「強化する」、「実現する」、「設計されている」、あるいはそれらに類似した表現で特定できます。CSR Quatro 5500シリーズ並びにこれらの技術を搭載した電機製品、周辺機器等の性能、機能、または特徴の変更・向上等に際して将来発せられる一連の発表は、そのいずれもがCSRおよびその顧客の継続的評価の対象に服すものであり、実現されるか否かは不確実であり、かつCSRまたはその顧客の確約と見なすことはできず、証券

購入の判断に利用すべきではありません。かかる予想に関する記述は、CSRの経営陣の現時点での予想と見解を示すもので、CSRの事業戦略とCSRが事業を行う環境に関与する多数の仮定の上に成り立っているため、未知または既知のリスク、偶発性、不確実性、およびその他要因が複雑に関連し、その多くはCSRによる管理の及ぶ範囲を超える事項に属します。これらの要因の一部は、SECのWebサイト(<http://www.sec.gov>)で公開されているCSRの定期レポート(「Risk Factors(リスク要因)」または「Forward Looking Statements(将来予想に関する記述)」)という見出しの下、またはその他の箇所で詳述されていますが、それらに限定されません。予想に関する各記述は、その日付の時点での記述です。法に定めのある場合を除き、CSRは、ここに記載されている予想に関する記述について更新または改訂があった場合でも、公式にリリースする責任を負いません。

\*Bluetooth®およびBluetoothロゴは、Bluetooth SIGが所有する商標であり、CSRにライセンスされています。

\*Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, WMM®, Wi-Fi Protected Access®, WPA®, WPA2®, Wi-Fi Protected Setup™ 及び Wi-Fi Multimedia™ はWi-Fi Allianceの登録商標です。

\*本文書に記載されているその他の製品、サービス、名称は、該当するそれぞれの所有者の商標である場合があります。

<報道関係お問い合わせ先>

広報代行 株式会社プラップジャパン 谷本

電話:03-4570-3191 E-mail: [csr\\_pr@ml.prap.co.jp](mailto:csr_pr@ml.prap.co.jp)

<お客様、ユーザー様お問い合わせ先>

シーエスアール株式会社 坂本

電話:03-6403-7100 Email: [prjp@csr.com](mailto:prjp@csr.com)